

「居場所の包括連携による全国のモデル地域づくり」 (一社) タウンスペースWAKWAK

私たちは、これまで中学校区を対象に行ってきた支援のひな型・ノウハウを広げるべく市域広域事業を開始しました。富田地域を基盤としながらも市域全域に支援対象範囲を広げ、地域諸団体、学校、行政、大学、企業、医療関係、宗教関係、議員さんなど分野を超えた包括的なネットワークを生み出しながら全国の支援モデルづくりに本格着手します。

『地域から広がる第三の居場所 アクションネットワーク』始動！

—会の趣旨—

高槻市内において子ども分野をはじめ多様な活動を行う団体、企業、大学、学校、行政、個人等の関係者が一同に会し、顔を合わせ、情報交流をする中で「第三の居場所づくり」を支援・行動していくためのゆるやかなネットワークを築くためのプラットフォーム。

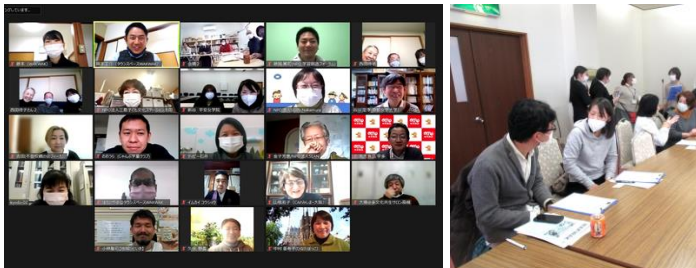
会の3つの方向性

- ①民間だからできるアクションを進めながら将来的には官庁とも協働する。
- ②コロナ禍、緊急性の高い社会的不利層への支援からはじめ様々な層へ広げる。
- ③こども分野からはじめ、障がい・高齢・外国人支援分野等へ広げる。

会の3つの機能

- ①ネットワーク間の顔がつながる
物の動き、人の動きがゆるやかにでき始めている。
実際にネットワークで顔つなぎができているので動きやすく、協働しやすいとの声が挙がっている。
- ②情報交流と助け合い
連絡会だけでなくメーリングリストを通して日々さまざまな情報交流をおこなうことができる。
- ③支援構築に向けたアクション
協議をしながらもどんどんアクションを起こしていく場にしたい。

ネットワーク連絡会は対面とオンラインのハイブリッド形式で隔月開催



アクションネットワーク参加者の内訳

セクター分類	団体数(団体)	参加人数(名)
市民活動団体	40	76
企業	8	14
大学・学校	6	12
宗教関係	3	3
医療関係	4	6
個人	9	16
合計	70団体	127名

(2022年9月6日現在)

～これまでの活動～



↑2021年10月
湯浅誠さんをお呼びして「地域から広がる第三の居場所講演会・シンポジウム」を開催。アクションネットワーク立ち上げにつながる。

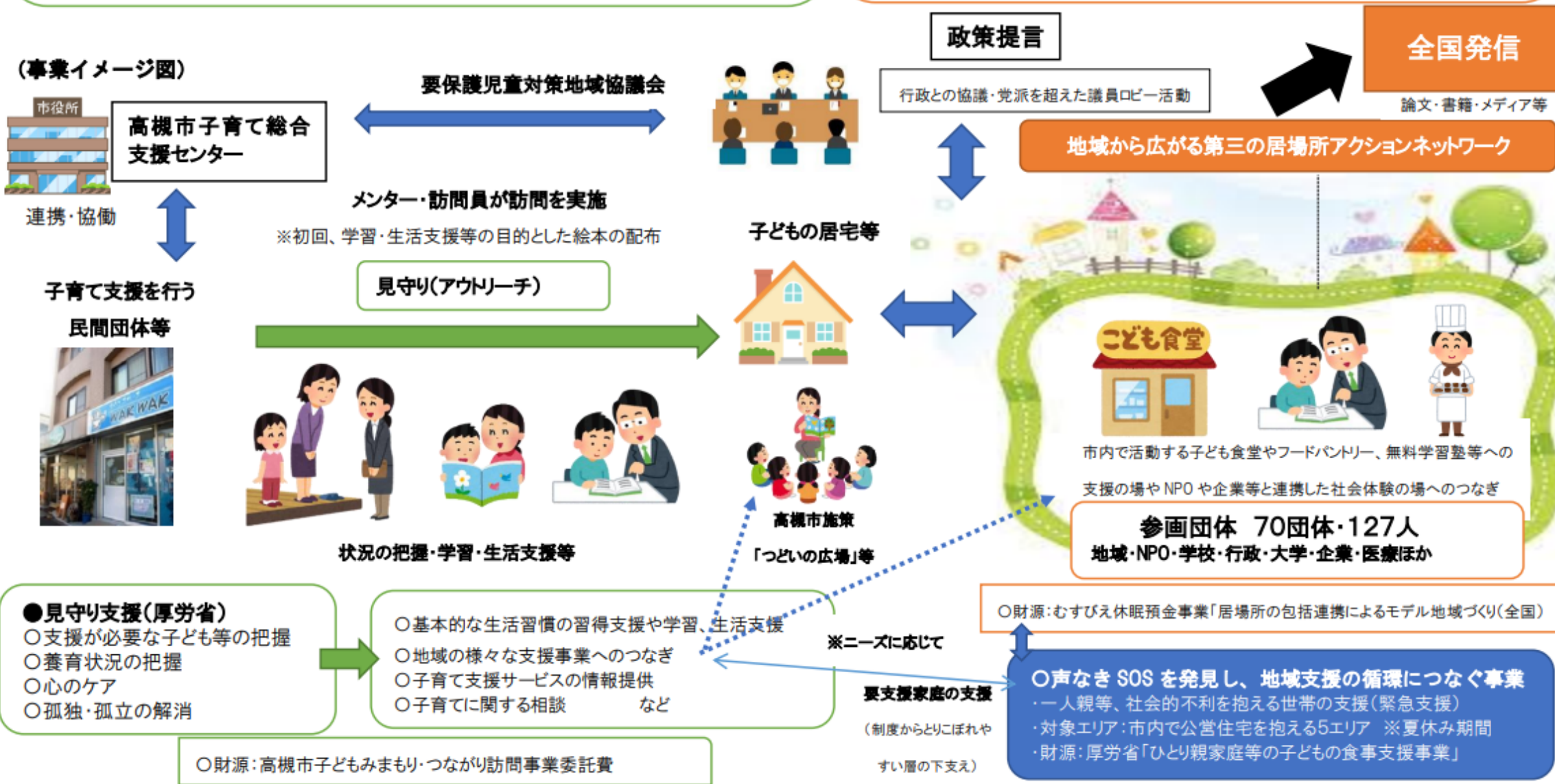
→2021年12月～
「市域フードパントリーサテライト」
七中校区と高槻つばめ学習会で始動。



←2022年5月
桜台エリアネットワーク発足。
子ども食堂立ち上げのお手伝い。

●高槻市子どもみまもりつながり訪問事業(厚労省支援対象児童等見守り強化事業)
 新型コロナの影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、高槻市域において未就園児等(保育所等に通っていない原則2歳児～就学前の子ども)のいる対象家庭を訪問するなどし、状況の把握や学習及び生活支援等を通じた子どもの見守りを実施する。
 (対象:高槻市域(人口約35万)、1エリア650人×2エリア・通年事業)

●むすびえ休眠預金事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり(全国)
 「つながる・食べる・学ぶ・生活を支える」をキーワードにした①第三の居場所ネットワーク、②フードパントリー、③学習支援、④大学、元保育所OG等と連携した専門職・担い手の育成と支援対象児童等見守り強化事業を並行して実施することで市域に官民連携による面(セーフティネット)を構築する。また、実践による知見を日本全国に発信する。(2021～3か年事業)



一般社団法人 **タウンスペースWAKWAK**
 〒569-0814 高槻市富田町2-13-8ハイツ白菊1F
 TEL/FAX 072-693-9005
 E-MAIL jinken@ba.wakwak.com
 URL https://wak2.jimdo.com

※資料はご自由にお取りください。
 ※「地域から広がる第三の居場所アクションネットワーク」は団体・個人問わずご参画いただける方を随時募集しています。この活動にご賛同いただける方は是非お問い合わせください。